

学校教育目標

自ら考え 自らの力で 未来を切り拓く宮野浦の子ども ～自律・協働・創造～

本校ホームページ <http://www.sakata.ed.jp/miyanoura/>



# 宮小だより



令和6年4月19日号  
発行:酒田市立宮野浦小学校

## 学校をつくる

令和6年度は、38名の新1年生を迎え、303名の児童と33名の教職員でスタートしました。今年も桜の開花と重なり、やる気に満ちた子どもたちの笑顔がより一層華やかに感じられました。本校は今年150周年を迎えます。5月の朝会で学校の歴史を紹介しますが、記念式典は行わず、児童と一緒に創立を祝う行事として、6月に全校記念写真撮影、理科実験パフォーマーによる講演を行います。またPTA会報部が特集を組んで発行、児童のアイディアを活かした活動を今後計画していきます。

8日の始業式では、生活リズムや家庭学習など『自分で決める』、いろいろな考えや個性の違いを受け入れ『自分からきく』、そして、『学校があるからいく から 学校を自分たちでつくる』ということをお話しました。年度末「宿題出しません」について学校だよりに書きました。3年生以上は発達段階に応じて自分で考える家庭学習に取り組んでいきます。これまで学校で行ってきたことについて、改めて見つめ直し、本当に必要なものは何かを考えながら進めていきたいと思えます。

児童一人一人が思い、考えている「〇〇したい」にたっぷり学び浸ることが、やがて「自分をつくること」につながっていきます。子どもたちに、いかに「考えたい」「話し合いたい」と思わせることができるかが重要だと考えます。

同時に、学校の働き方改革も進めていきます。昨年度は長期休業中の課題の見直し、教育課程を変更したことにより、児童はもちろん教職員にもゆとりが生まれました。児童理解や授業づくりに専念することができる環境が必要です。これまでも登下校や見守りを保護者・地域の方々からいただいています。文化フェスティバルや水泳・持久走記録会は全校では行わず精選しました。欠席連絡はメールでお願いし、お便りは今後学校ポータルサイトを活用していきます。教職員の勤務時間は、8時15分から16時45分、時間外勤務は一ヶ月45時間以内と定められています。この2年で改善しつつありますが、市内でも45時間を超える時間外勤務者が多い学校です。児童の前に立つ教員が、心身ともに健康でいきいきと働くことが、自分たちの「学校をつくる」ことに力を与えます。みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

子どもたちは成長途中で、失敗もたくさんあります。だから、《教育》の必要があります。《対話》の必要があります。子どもたち、保護者、地域、教職員、みんなで「学校をつくる」という視点で、宮野浦小学校を応援していただければと思います。

校長

